

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	防災拠点管理運営事業				②事業番号	7626	
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	平成	9	年度
⑤終了予定年度	年度		〇 設定なし				
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	〇 その他	
法令等の名称：大阪府南部広域防災拠点の主要施設のうち泉南市がスポーツ・レクリエーション施設として利用する部分にかかる管理運営基準他							
⑦実施手法	直営	全部委託	〇 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	6	目	3	細目
⑨担当部名	教育部		⑩担当課名	生涯学習課		会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 大阪府南部広域防災拠点	① 防災拠点施設数	施設
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
①災害時の大阪府の防災拠点としての施設であり、市がスポーツ施設として利用する部分の保守管理・点検等の警備業務を行う。	① 委託業務件数	件
②通常はスポーツ施設(りんくう体育館・公園広場・運動広場)として、一般利用者に利用してもらい、有効活用している。	② 施設開館日数	日
③	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
①緊急時の防災施設として、万全に対応できる。	① 委託業務トラブル件数	件
②通常時において、市民の体力の増進・健康維持を行う。	計算式	
②	施設利用者数	人
③	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
施設利用者の体力の増進・健康維持向上に貢献することにより、スポーツの推進を促す。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	防災拠点施設数	施設	3	3	3	3	3	
対象指標②								
活動指標①	委託業務件数	件	5	5	5	5	5	
活動指標②	施設開館日数	日	238	238	236	246	240	—
活動指標③								
成果指標①	委託業務トラブル件数	件	0	0	0	0	0	
成果指標②	施設利用者数	人	21,513	20,920	21,356	21,500	22,000	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.13	0.19	0.26	0.24		
	正職員	人	1.00	1.05	1.00	1.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	4,224	4,984	5,413	5,259		
	直接事業費	千円	6,586	6,519	6,432	6,629		
	総事業費	千円	10,810	11,503	11,845	11,888		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	府支出金	千円	4,792	4,730	5,015	4,965		
	受益者負担金	千円	986	929	892	1,495		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	5,032	5,844	5,938	5,428		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	当施設は災害時の大阪府の防災拠点としての施設であるが、平時は有効活用するという趣旨で、スポーツ施設(りんくう体育館・公園広場・運動広場)として、一般利用者に開放するようになった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	現在まで引き続き、泉南市のスポーツ施設としての役割を果たし、利用者の体力の増進・健康維持向上に貢献する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する アイ. ある程度 ウ. しない	防災体制の構築につながっていく。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	府の施設危機管理防災施設の有効利用という形で府から委託を受けて運営している。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	体育館・公園広場・運動広場の利用料は適度であると思われる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない	スポーツ施設としての機能が果たせなくなってしまう。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	トラブルも無く、防災拠点として管理運営されており、また、スポーツ施設としても、利用希望者が多く、成果は得られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	防災拠点として、あるいはスポーツ施設として、利用促進のPR活動(広報等)を行う。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	防災拠点として、あるいはスポーツ施設として、利用促進のPR活動(広報等)を行う。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	基準に基づき適切に使用料を徴収している。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	府の防災施設であるが、スポーツ施設としての有効利用という点で、利用者の体力の増進・健康維持向上に貢献している。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 ↓ (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 ↓ (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 ↓ (___ 年から)</p>
□	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—